



ID: 1359

科目名	経営管理論【26年度生用】			コード			
英語表記	Business Management						
担当教員名	古田 正雄			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
本講義は原則として経営学概論受講者が選択できる。先進国市場は多くの産業分野が成熟期に入る一方、新興国 特にアジア地域の成長は目覚しく、その経済成長は欧米諸国が30年かけたことを5～10年で成し遂げようとするスピード。オリンピック開催、万国博覧会、土地バブル、金融危機の度にパラダイムシフトが起こる。これに打勝ってサバイバルするには企業戦略の優劣が重要となる。本講では企業戦略の代表的な理論を学ぶ。							
到達目標							
企業戦略立案に必要な理論知識を取得する。							
授業計画							
第1回	競争戦略とは何か	授業の進め方、競争戦略のフレームワーク					
第2回	経営戦略概要	経営機能、事業アイデンティティ、戦略策定プロセス					
第3回	業界構造の分析	企業に影響を与える5フォース(5つの脅威)					
第4回	3つの競争基本戦略	コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略、					
第5回	競争業者の分析	将来の目標、採用している仮説、現在の戦略、保有する能力					
第6回	競争行動の分析	攻撃的行動、防御的行動、買い手と売り手の分析					
第7回	業界内部の分析	戦略グループMAP、プロダクトライフサイクル					
第8回	5種類の業界環境	多数乱戦業界、先端業界、成熟業界、衰退業界、グローバル業界					
第9回	戦略決定の着眼点	垂直業界(川上、川下)、キャパシティ拡大戦略、新規参入戦略					
第10回	BOP戦略	世界の間層分析、ボトムオブピラミッド戦略					
第11回	ブルーオシャン戦略	バリューイノベーション、戦略キャンパス、ERRCグリッド					
第12回	ランチェスター戦略	局地戦と広域戦、シェア法則、3つのグランドルール					
第13回	ゲームの理論	囚人のジレンマ、ゲームの木、利得表、ジレンマの戦略的活用					
第14回	グローバル企業の実例	韓国の官民一体政策、SAMSUNGの実例					
第15回	通貨危機と経済連携協定	関税の現状、FTA、EPA、TPP、APEC、ASEAN、アジア通貨危機					
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
期末試験、レポート課題、出席回数で決める。出席率が70%未満の者、および授業態度の良くない者は評価の対象外となる。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				45%	5%	50%	
授業外学習			テキスト、教材				
			特に定めはない。必要に応じてプリントを配布する。ただし、必ず各自で経営学関連の参考書を持参すること。				
参考書			受講生へのメッセージ				
競争の戦略 M・E・ポーター 著 ダイヤモンド社			レポート等の提出はWORD, EXCELで作成のこと。毎回提出が前提で、必ず予習と復習を行なうこと。				
キーワード							
コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略、ポジショニング							